

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	地域包括支援 I	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習 フィールドワーク
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	1 年前期
担当教員：井上 亜希		実務経験のある教員による授業			<input checked="" type="checkbox"/>
在宅看護業務に携わった教員が教授している					
《科目目標》 地域の特性を知り、そこで生活する人とその人を取り巻く地域包括ケアシステムを理解する					
《成績評価の方法》 筆記試験					
《使用教材（教科書）及び参考図書》 ① ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 公衆衛生がみえる メディックメディア ④ 基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社					
《授業外における学習方法》 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	瀬戸市の地域特性・統計、地区踏査について			講義
2	2	地域包括ケアシステム：地域包括支援センター			講義
3	1	訪問マナー			講義・演習
4	2	地区踏査①：瀬戸市の産業と私たちの身近な地域			フィールドワーク
5	2	地区踏査②：学びの共有			演習 (GW)
6	2	地区踏査③：まとめ			演習 (発表)
7	2	地域に生活する人を支える制度			講義
8	2	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携			講義

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護概論	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	1 年後期
担当教員： 木下 典子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員が教授している					
<<科目目標>> 社会背景を理解し、在宅看護の特徴や基盤を学び、在宅療養者の特性と家族のニーズに即した看護を理解する					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> ① ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 公衆衛生がみえる メディックメディア ④ 基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社					
<<授業外における学習方法>> 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 地域・在宅看護の概念 在宅看護のイメージ			講義
2	2	地域・在宅看護の背景、地域・在宅看護の基盤			講義
3	2	地域療養を支える在宅看護の役割・機能			講義
4	2	地域・在宅看護を展開するための基本理念、地域・在宅看護における倫理			講義
5	2	2. 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 地域包括ケアシステム			講義
6	2	療養の場の移行に伴う看護（退院支援・退院調整）			講義
7	1	在宅看護におけるケアマネジメント			講義
8	2	認知症サポーター養成講座			外部講師

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	地域・在宅看護の方法 I	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習 フィールドワーク
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (3 0)	開講時期	2 年前期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員が教授している					
≪科目目標≫ 地域で療養する人の生活から、看護課題を見出して、その人に必要な生活支援について知識・技術を習得する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材(教科書)及び参考図書≫ ① ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 写真でわかる訪問看護 インターメディカ					
≪授業外における学習方法≫ 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する。					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	在宅看護過程の特徴、情報収集の幅広さ、情報整理とアセスメント			講義
2	2	看護課題の考え方、目標設定と評価の視点、記録			講義
3	2	在宅看護における危機管理、日常生活における安全管理			講義・GW
4	2	感染予防、災害対策			講義
5	2	在宅生活を支える基本的な技術1(コミュニケーション、環境整備、生活リハビリ)			講義
6	2	在宅生活を支える基本的な技術2(環境整備：福祉用具)			フィールドワーク
7	2	在宅生活を支える基本的な技術3(環境整備：福祉用具)まとめ			演習(GW・発表)
8	2	日常生活を支える看護技術(呼吸・フィジカルアセスメント)			講義
9	2	日常生活を支える看護技術(食事のアセスメントと援助)			講義
10	2	日常生活を支える看護技術(フレイル予防のアセスメントと援助)			講義
11	2	日常生活を支える看護技術：清潔・移動のアセスメントと援助 (自立を促す清潔ケア、足病変のアセスメント・予防とケア)			講義・GW
12	2	日常生活を支える看護技術：清潔・移動援助			演習
13	2	(自立を促す清潔ケア)			演習
14	2	日常生活を支える看護技術(排泄のアセスメントと援助)			講義
15	2	療養を支える看護技術(ストーマ管理)			講義

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	地域・在宅看護の方法Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2 年後期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
<<科目目標>> 地域で療養する人と家族が安心して日常生活を送るために必要な医療処置と支援について知識、技術を習得する					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材(教科書)及び参考図書>> ① ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 写真でわかる訪問看護 インターメディカ ④ 在宅看護過程 医学書院					
<<授業外における学習方法>> 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	医療ケアの原理原則 医療処置を必要とする療養者の理解 (小児・難病)			講義
2	2	排尿ケア (膀胱留置カテーテル)			講義
3	2	在宅経管栄養法			講義
4	2	在宅中心静脈栄養法			講義
5	2	膀胱留置カテーテル演習			演習
6	2				
7	2	在宅酸素療法			講義
8	2	在宅人工呼吸療法 (NPPV・TPPV)			講義
9	2	気管カニューレ管理、排痰ケア			講義
10	2	在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法患者の看護			外部講師
11	2	薬物療法・インスリン自己注射管理・疼痛管理			講義
12	2	がん外来化学療法・在宅 CAPD 管理			講義
13	2	褥瘡管理			講義・演習
14	2	在宅ターミナルケア			講義
15	2	在宅ターミナルケアの実際			外部講師

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護の方法Ⅲ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	2年後期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
≪科目目標≫ 地域での療養生活を継続するための、訪問看護の役割と在宅看護の展開方法を理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ① ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 在宅看護過程 医学書院					
≪授業外における学習方法≫ 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読し、理解を深める					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	事例① 自己管理が必要な糖尿病のある独居高齢者：移行期			講義
2	2	事例② 中途障害による頸髄損傷障害者：安定期			講義
3	2	事例③ 地域で生活する重症心身障害児と家族：移行期・安定期 障害者・障害児が利用できる社会資源			講義
4	2	事例④ 被虐待が疑われる認知症高齢者と家族：地域ケア			講義
5	2	事例⑤ 在宅で終末期を迎える療養者と家族：終末期			講義
6	2	在宅看護過程①：初回訪問の情報整理とアセスメント			演習 (GW)
7	2	在宅看護過程②：看護課題、目標設定、社会資源活用の検討			演習 (GW)
8	1	在宅看護過程③：まとめ			演習 (GW・発表)

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域包括支援Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位（時間）	1（15）	開講時期	2 年前期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員が教授している					
≪科目目標≫ 地域で療養する人と家族の生活を理解し、それを支える看護を学ぶ					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ① ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 公衆衛生がみえる メディックメディア ④ 基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社					
≪授業外における学習方法≫ 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する。					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 在宅療養者と家族の支援 地域・在宅看護の対象者 在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件			講義
2	2	在宅療養の場における家族のとらえ方			講義
3	2	在宅療養者の家族への看護			講義
4	1	2. 地域療養を支える制度 医療保険制度、難病法、子どもの在宅療養を支える制度と社会資源			講義
5	2	3. 在宅療養を支える訪問看護 訪問看護の特徴、在宅ケアを支える訪問看護ステーション			講義
6	2	訪問看護サービスの展開、訪問看護の記録			講義
7	2	4. 訪問看護技術 家庭訪問、初回訪問			講義
8	2	訪問看護の実際			外部講師

